



第1844回 例会

2012-13年度RI会長: 田中 作次
 第2640地区ガバナー: 北中 登一
 創立: 昭和49年5月15日
 会長: 橋本隆
 幹事: 吉本正美
 会報: 前田吉彦



VOL. 39 No. 2

2012年 7月11日 (水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会: 毎週水曜日 12:30~

司会者 橋本 隆 会長

唱歌

”われは海の子 ”
 丸山 勇人 君



ゲスト

株式会社 エコワーク TANABE 代表取締役 野村 憲司 様

出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
47名	3名	8名	81.82%
6月27日修正出席率 97.73%			
6月の平均出席率 96.02%			

ニコニコ箱

(敬称略)

- ◇委員会活動報告、頑張ってください。
 愛須、橋本、平野、片井、木村、畔田、岡本、
 武田、竹村、谷本、谷中、内芝、上原、宇都、
 山本、吉本
- ◇委員会活動報告、頑張ります。
 畑地、森本、沖
- ◇発表します。プログラム宜しくお願いします。
 中川
- ◇皆出席いたしました。
 内芝、谷峯、竹村、上原、橋本、泉、武田、
 佐田、中川、山本、片井、木村、谷中、吉本、
 平野、浦地
- ◇世界遺産を見にソウルへ行ってきました。チャン
 グムのお家も見ってきました。韓国語難しく失敗しま
 した。英語で謝って来ました。アイムソール!!
 佐田
- ◇孫の七夕祭りで和歌山まで行ってきました。
 孫よりおばあちゃんの方がはしゃいでいました。
 吉田
- ◇初出席です。宜しくお願い致します。 丸山勇
- ◇お花頂きます。 安井
- ◇本人誕生日 玉置

■ 7月7日(土)地区R財団セミナーに、R財団委員長
 の小山 實君と、吉本幹事、私 会長の3名で出席
 して参りました。

■ 本日、例会終了後に定例理事会を開催致します。
 理事・役員の方はお残りください。

幹事報告

- 例会日時変更
 ◎橋本紀ノ川RC
 7月17日(火)→ 7月15日(日)
 場所: 堺屋 <親睦家族例会>
- ◎和歌山南RC
 7月20日(金)→ 7月22日(日) 18:00~
 場所: ホテル太公望 <納涼家族例会>
- ◎和歌山北RC
 7月30日(月)→ 7月30日(月) 19:00~
 場所: 三八波 和歌山市黒田2-1-25
 8月13日(月)→ 休会
- ◎田辺はまゆうRC 7月24日(火)→ 休会
- メークアップ
 ◎7月6日(金) 白浜RC 坂本 正人君
 ◎7月7日(土) 地区R財団セミナーに出席
 小山 實君、橋本会長、吉本幹事

会長報告

■ 本日のプログラムは2012~2013年度委員会活動計画
 の発表です。
 担当の委員長の皆さま、宜しくお願い致します。

回覧

- ◎週報「粉河RC」
- ◎和歌山RC「創立75周年記念誌『絆』」

ガバナー事務所より

- ◎「2011-2012年度 ガバナー事務所閉所のお知らせ」
- ◎「2012-2013年度 ガバナー事務所開所のお知らせ」
- ◎「ホームページのご案内」
- ◎「2012-2013年度 ガバナーエレクト事務所開所のお知らせ」
- ◎「2013-14年度 ロータリー青少年交換長期派遣生の募集の案内」
- ◎「ガバナー月信7月号」
- ◎「『ロータリーの友7月号』 地区だより」

■ 掲示

- ◎株式会社サイバーリンクス様より事業所一部移転のご挨拶
- ◎社会福祉法人ふたば福祉会 ふたば作業所様より「ミュージカル アトム」のご案内

■ 連絡

- ◎次回7月18日は廣本ガバナー補佐をお迎えして、クラブ協議会を開催いたします。
- ◎本日配布しております「概況報告及び各委員会活動計画書」の製作は武田静也君。製本に武田静也君と吉本幹事で行いました。
- ◎「ロータリーの友7月号」が届いています。各自トレーに入っています。宜しくお願いいたします。

当クラブに、血圧計導入！！



毎回、例会に出席して、健康管理を！！

委員会報告

R財団委員会

小山 實 君



7月7日(土)地区R財団セミナーに、私、小山 實と、橋本会長、吉本幹事の3名で出席してきました。

新 入 会 員



中西 正人 君

皆 出 席 者

- | | |
|-------------|-------------|
| 37年 内芝 殷典 君 | 32年 谷峯 正美 君 |
| 27年 丸山 博之 君 | 18年 竹村 英一 君 |
| 17年 上原 俊宏 君 | 16年 橋本 隆 君 |
| 13年 泉 房次朗 君 | 12年 楠本 正明 君 |
| 11年 武田 静也 君 | 8年 佐田 一三 君 |
| 7年 中川 文恵 君 | 7年 西谷 次彦 君 |
| 7年 山本 亘 君 | 5年 坂本 正人 君 |
| 3年 片井 貢 君 | 3年 木村 壽一 君 |
| 3年 谷中 順次郎君 | 3年 吉本 正美 君 |
| 2年 平野 好史 君 | 2年 浦地 章 君 |
| | 以上 20名 |



内芝 殷典 君



谷峯 正美 君



竹村 英一 君



上原 俊宏 君



橋本 隆 君



泉 房次朗 君



武田 静也 君



佐田 一三 君



中川 文恵 君



山本 亘 君



片井 貢 君



木村 壽一 君



谷中 順次郎君



吉本 正美 君



平野 好史 君



浦地 章 君

■クラブ奉仕委員会（A部門）

委員長

竹村 英一 君



委員長 竹村 英一
 委員 愛須 勝章
 委員 沖 史郎

当委員会は会員増強委員会・R情報委員会と連携し、会員増強・退会防止に努めます。その為にクラブ奉仕委員会（B部門）及びその他の委員会とも連携をはかり魅力ある例会とクラブの運営に協力いたします。

■会員増強委員会

委員長

愛須 勝章 君



委員長 愛須 勝章
 副委員長 谷中 順次郎
 委員 北村 圭司
 委員 吉田 和枝

委員会活動報告

■会場監督（SAA）

委員長

畑地 誠 君



委員長 畑地 誠
 副委員長 楠本 正明
 副委員長 安井 忠雄
 副委員長 山本 亘
 副委員長 渡口 眞二

1. 秩序正しく、楽しい例会運営に努力したい。
2. ニコニコはユーモアを交えて発表したいと思しますので会員の皆様のご協力をお願いします。
3. 月末の奉仕食、結婚記念日のお祝いのお花は従来通り継続します。
4. 会員相互の理解を深めるように配慮する。

■R情報委員会

委員長

沖 史郎 君



委員長 沖 史郎
 副委員長 西谷 次彦
 委員 上原 俊宏

1. R I、2640地区、他のクラブの活動状況を収集して、自クラブの会員に報告しクラブの活性化につなげたい。
2. 新人会員がロータリーの理解を深めることができるようフォローする。
3. 新年度の最新情報を会員に伝える

■クラブ奉仕（B部門）

委員長

武田 静也 君



委員長 武田 静也
委員 丸山 博之（出席）
前田 吉彦（会報）
森本 修至（親睦）
中川 文恵（プログラム）

昨今、当東ロータリークラブのおきましても年々平均年齢の上昇に歯止めがかからない状態になって参りました。そこで魅力あるロータリークラブを目指し特に増強委員会と連携を図り若い会員を獲得するため、又退会防止に、当クラブのより一層の活性化が必要と考えます。

そこで、プログラム活動、親睦活動、出席率の向上、会報による行事、プログラムの紹介等、各会員の意識の向上を目指し、各会員自身がロータリーを楽しむことがクラブ充実の根底でありそれが強いては会員の増強につながっていき又、委員会の枠を超えて連携することが各会員の相互理解につながると信じております。

B部門のスローガンとしては「ロータリーライフを楽しもう」 サブタイトルは「各会員の親睦と絆の再構築」を展開します。

各会員の方々には今後一層のご協力をお願いしますと共に今を楽しく生きるクラブ、充実したクラブを目指し委員会運営を図ります。

■プログラム委員会

委員長

中川 文恵 君



委員長 中川 文恵
副委員長 畔田 実
委員 岡本 博
堀 龍雄
丸山 勇人

1. 年間予定表の枠組みを基本にプログラムを計画する。

8月 会員増強及び拡大月間
9月 新世代のための月間
10月 米山・職業奉仕月間
11月 ロータリー財団月間
12月 家族月間
1月 ロータリー理解推進月間

2月 世界理解月間
3月 識字率向上月間
4月 ロータリー雑誌月間
5月 親睦月間

2. 会長筆頭に各クラブの委員長の方針、活動、課題などをプログラムに組み入れる。

■会報委員会

委員長

前田 吉彦 君



委員長 前田 吉彦
副委員長 谷本 司
委員 本田 耕二
後藤 信博
宇都 達裕
上原 俊宏（雑誌担当）

1. 例会の正確な記録、及び、報道を行う。
各委員会の協力を得て、話題や活動が十分に取上げられるように努めます。
2. 会員や行事の写真を織り混ぜ、視覚的に楽しめるように編集する。
3. 毎週発行する。
4. 「ロータリーの友」を会員向けに周知する。
5. 週報のデータ化及びデータ配布を更に推進する。
6. ホームページの維持活用を行う。

■親睦委員会

委員長

森本 修至 君



委員長 森本 修至
副委員長 本田 耕二
委員 中嶋 伸和
杉若 雅宣
浦地 章
山下 郁夫
中西 正人

1. 今回40周年記念フォーラム開催準備期間として今後、会員・会員家族の相互のより一層の理解に努めます。
2. 四つのテストの精神にのっとり、今後の親睦行事を開催します。
3. 5大奉仕活動の支援及び外部団体との親睦を図る機会を作り、クラブ会員の友情を深めることに努力します。